

## 竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



## 竹の子会会報

No.613

竹の子会総務委員会

令和3年9月9日

# 会員オリエンテーション

令和3年7月9日(金) 奥の細道むすびの地記念館



教養委員会  
委員長  
村林 壮太

皆様、こんにちは。第66期教養委員長を拝命いたしました、村林 壮太と申します。7月9日(金) 会員オリエンテーションを大垣市奥の細道むすびの地記念館2階多目的室で開催し、3名の新しい仲間をお迎えしました。

第66期名和会長のスローガンである「問い続ける～現在を見つめ志す未来へ～」を念頭に、オリエンテーションでは各委員会説明のほか、恒例となっております名刺交換を行いました。また、このコロナ禍で少なくなっている交流補助として、今回新たに会員個人の紹介を加え、各会員から新入会員への一言をいただきました。新入会員の皆様はまだ知らない会員が多く、少しでも会員のことを早く知っていただければと企画させていただきました。また、はじめて参加する事業で、戸惑う事もあったかと思いますが、大垣竹の子会の楽しさや事業のことを知る良い機会になったと思っております。

新入会員の皆様は、これから大垣竹の子会で何をすればいいのか、まだわからないかもしれません。それならば、まずはこの同期メンバーを大切にしてください。私は「大垣竹の子会に入ったら、いいことはあるのですか?」と聞かれた時に、正直、もっともらしいことを言っても、自分の言葉で答えることは出来ませんでした。今なら迷わず「同期」と答えます。この先、嫌な事も含め、色々なことを体験できると思います。困った時は、もちろん先輩方も助けてくれます。ただ、同期がいれば、何も問題ないです。

第66期大垣竹の子会の事業が、会員オリエンテーションを最初としてスタートしました。いまだに世の中は非常事態と言える状況であり、例年通り、本来なら出来る事、やりたい事等が簡単にできない時もあるかと思えます。しかし、そんな時だからこそ会員が力を合わせ、新入会員と一緒に大垣竹の子会を盛り上げていけたらと考えております。自分自身も新入会員をサポートしながら、成長できたらと思えます。皆様、どうぞよろしく願いいたします。



# 7月度例会 総会懇親会

令和3年7月21日(水) 大垣フォーラムホテル



親睦委員会  
委員長  
古澤 和也

皆様こんにちは。第66期大垣竹の子会親睦委員長を務めさせていただきます第64期入会の古澤和也です。去る7月21日(水)名和会長のもと、新たな期のスタートとして、大垣フォーラムホテル、旭光の間にて第66期大垣竹の子会7月度例会総会懇親会が執り行われました。多数の来賓、特別会員、現役会員の皆様にご参加いただき、また皆様と交流させていただくありがたい機会となり親睦を深めることができたのではないかと大いに感じました。本当にありがとうございました。

総会懇親会は大垣竹の子会の期のスタートとなる大切な事業ですが、前年に続き新型コロナウイルスの影響があり、いかに皆様に安心してご来場していただき、また安全な総会懇親会が行われるか、委員会で話し合ってきました。完璧ではない点多々あったとは思いますがコロナ過の中、皆様のおかげをもちまして無事に総会懇親会を開催することができました。また今期も65期で卒業生を送る会ができなかったため、三島秀昭卒業生をお招きいたしまして、ご挨拶をいただきました。本来であれば盛大に送り出したいところ短い時間になってしまったことは悔やまれることです。

私事ではございますが、今期初めて委員長職を務

めることとなり、総会懇親会は委員長としての最初の事業になりました。右も左もわからないままでしたし不安もありましたが、第66期大垣竹の子会、また名和会長にとっても期がスタートする大事な事業ですから失敗はできないと思い委員会を何度も開催してしまいました。市川崇史担当副会長にも委員会メンバーにも、計り知れないほどの多大なご迷惑をおかけしました。担当副会長、委員会メンバーには感謝しかありません。親睦委員会は素晴らしい委員会です。

毎年行われる事業ですが準備を進めていく中、事業を組み立てる難しさ、来賓、特別会員の席次など自分自身にとっても成長させていただける、学ばせていただけるありがたい機会になりました。

最後になりますが、総会懇親会の開催にあたり、多数の現役会員の皆様にご出席いただき、事業を盛り上げていただきましたことと、運営にあたってご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。今期スタートしたばかりですが今後も第66期名和良能会長を盛り上げていき、残りの事業も頑張っていきたいと思ひます。



# 第37回水門川万灯流し

令和3年8月7日(土) 水門川一帯



渉外委員会  
委員長  
久保田 吉則

皆様こんにちは。第66期渉外委員長を務めさせていただいております、第64期入会の久保田吉則です。去る8月7日(土)に貴船広場において、第37回水門川万灯流しが行われました。会員の皆様には、お忙しい中、多数のご参加ご協力いただき感謝申し上げます。このような世界の状況の中で、事業を行う事ができた事は結果として、とても良かったと思います。例年とは違う形のライブ配信の内容でしたが、他団体との交流を深め、万灯流しを製作された方、ご覧になられた方に喜んでいただけたのではないのでしょうか。それも大垣市青年のつどい協議会の皆様が、このような状況でも何とか開催できないかと強い思いをもって、行動していただいた結果だと思えます。感謝申し上げます。大垣市市長をはじめ、数多くのご来賓の方々にもご出席いただきました。僕自身、水門川万灯流しに初めて参加させていただきました。感想ですが、とても素晴らしい事業だと僕は思います。この事業を行うまでに大垣市青年のつどい協議会をはじめ、各団体の皆様が一つの目的に向かい協力し、そういった中で一緒に問題を乗り越えて、お互いを知り、交流が深まっていくのだと思えました。水門川万灯

流しをご覧になられた方は、一人であったり、友達同士であったり、恋人同士であったり、家族であったり、きっと様々な状況でご覧になられたと思います。子供の未来を話したり、友達の夢を聞いたり、いつ結婚しようか話したり、水門川万灯流しの事業がきっかけとなり、幸せな時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。周りの人のために自分がどれだけ時間を使えるか振り返る事ができました。大垣竹の子会員の皆様、水門川万灯流しにご協力いただき、ありがとうございます。

流しをご覧になられた方は、一人であったり、友達同士であったり、恋人同士であったり、家族であったり、きっと様々な状況でご覧になられたと思います。子供の未来を話したり、友達の夢を聞いたり、いつ結婚しようか話したり、水門川万灯流しの事業がきっかけとなり、幸せな時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。周りの人のために自分がどれだけ時間を使えるか振り返る事ができました。大垣竹の子会員の皆様、水門川万灯流しにご協力いただき、ありがとうございます。



## 新入会員紹介



伊田 直樹

この度、第66期より竹の子会に入会させていただきました、伊田直樹と申します。関ヶ原育ち、関ヶ原在住と関ヶ原をアピールしていますが、実は生まれは大垣なのです！小学校2年生の時まで大垣に住んでいました。現在仕事は個人事業主として映像制作をしています。冬は日本プロスキー教師協会(SIA)のインストラクターとしても活動しております。趣味は登山とキャンプです。数日間アルプスをテント泊で縦走することもあります。フリーランスとして映像制作を始めた頃、撮影を担当していたイベントで野原さんと知り合い、竹の子会やつどい協議会の皆さんと関わったのがきっかけとなりました。今年32

歳となりますが、まさか30代になって新たな組織に加わり、同年代の活躍されている方々と知り合えるとは思っていませんでした。自分1人では忘れてしまいがちですが、志の高い先輩方や同期とお互いを高め合いながら、自身の成長と地域への奉仕活動に貢献したいと思っています。このような歴史ある奉仕団体で活動することは初めてですが、先輩方や同期との繋がりを大切に、自分たちも楽しく、事業に参加される市民の方々に笑顔を届けられるような姿を目指していきたいです。この竹の子会の和気藹々とした雰囲気や事業の様子を今までにない「映像制作」で残し、活動を知ってもらうこと、興味を持っていただけるように自分の得意分野でも貢献していきたいと思っています。皆様よろしくお願ひいたします。

# 新入会員紹介



岩田 昂大

この度、第66期より新入会員となりました。岩田昂大と申します。よろしく申し上げます。仕事は大垣市西之川町にあります「岩田印刷」にて、営業を中心に様々な印刷関係の業務をしております。現在の仕事は色々な方と多種多様なお仕事をさせて頂くことができるとも有意義な時間を過ごさせて頂いております。

大垣竹の子会に出会ったきっかけは仕事でお世話になっておりました、川上さんの紹介でした。最初はどんな事しているのかも分かりませんでしたが、とにかくその場にいる皆さんが楽しそうにされていたのがとても印象的でした。そして、2021年5月に

行われました65周年の記念事業の際、入会予定者のお手伝いという形で少し参加をさせて頂きました。あいにくの天気の中ではあったのですが、ご来場されるご家族の方がとても楽しそうにされており、また、その笑顔にすこしでも自分が貢献できるということが、嬉しく感じました。そして、今後もそんな活動してみたいと思い今期入会をさせて頂きました。今年で29歳でまだまだ諸先輩方よりも経験や知識は足下にも及びませんが、フレッシュさだけは負けないつもりで、全力で竹の子会を盛り上げていきたいと思っております。OB会員をはじめとします諸先輩方、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



小倉 達郎

この度、大垣竹の子会 第66期より入会させて頂きます小倉 達郎と申します。

私は、生まれは大垣で18歳まで過ごし、大学から大阪に14年間出ておりましたが、2020年に結婚を機に大垣に戻って参りました。

仕事は祖父の代から家業として、大垣一宮線沿いの「川並自動車」で自動車販売・整備業を地域密着で行っております。大学卒業後、大阪で勤めておりましたがタイミングも重なり、自分でお店を持ちたいという幼い頃からの夢もあり、現在に至ります。これからもこの事業を衰退させることなく、時代に順応しながら地域貢献できる会社にしていきたい所存です。

この度は、永井OB・今西直前会長との自動車販売業でのお付き合いから、竹の子会へのお誘いを頂いたことがご縁となり、入会させて頂きました。事

前に活動内容等を説明頂きましたが、青年団体の存在を初めて知り、私が今まで市民として参加したことのある行事を支えている素晴らしさを感じました。このような経験をこの30代ですること、言葉にするのは難しいですが、教養・成長・仲間づくり・地域貢献・・・様々なことに繋げることがすぐにイメージ出来ましたし、地域を通して行動をおこすことで、私自身のステップアップになれるのではないかと感じ、入会を決めました。

私の在籍期間は7年。この7年で自分が少しでも今より成長できていることを願い、私の好きな言葉である「やらずに後悔するより、やって後悔」を実践していきます。

この度のご縁、繋がりを大切に、微力ながらお力添え出来るよう頑張っております。

OB会員様、先輩会員様、何卒宜しくお願い申し上げます。



## 講師例会

令和3年9月24日（金）  
奥の細道むすびの地記念館

## 交通遺児チャリティーゴルフ

令和3年10月7日（木）  
大垣カントリー倶楽部